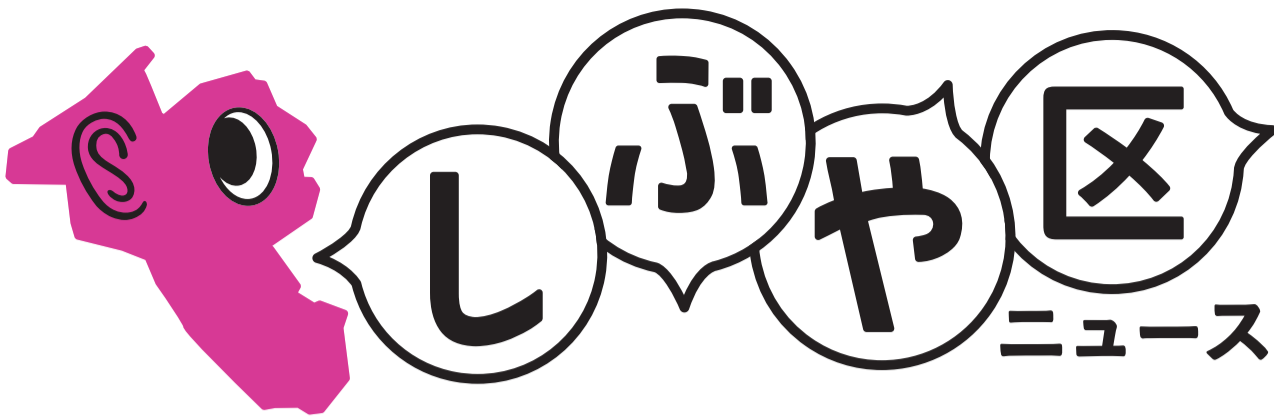


顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。



平成30年  
(2018年) 1月15日

No.1377

発行 | 渋谷区  
編集 | 広報コミュニケーション課  
住所 | 〒150-8010 渋谷1-18-21  
電話 | 03-3463-1211 (代表)  
公式HP | [www.city.shibuya.tokyo.jp/](http://www.city.shibuya.tokyo.jp/)  
公式Twitter | @city\_shibuya



渋谷区婦人団体連絡協議会の皆さん

人と人をつないで、地域を豊かにする。

渋谷区で学び続ける女性活動のパイオニア。

2 | 渋谷区の強い絆を支える  
3 | 女性たちの学びと活動。

4 | マイナちゃんがゆく  
5 | マイナンバーカードを申請しよう ほか

6 | 母子家庭・父子家庭の自立を  
7 | 支援します ほか

8 | 暮らしの情報  
11 |

★渋谷区役所は庁舎建替えのため、仮庁舎へ移転しています 移転先▶ 渋谷 1-18-21

# 渋谷区の強い絆を支える 女性たちの学びと活動。

渋谷のラジオで出張インタビュー 昭和35年の結成以来、学習活動やボランティア活動、地域文化の継承活動を

行う渋谷区婦人団体連絡協議会の皆さんに、活動の歴史などについて伺いました。



渋谷区婦人団体連絡協議会 理事長  
まるやま たかこ  
丸山多喜子さん

「絆」というテーマを大切に、みんなが住みやすい地域づくりをしていきたいです。

—— 婦人団体連絡協議会(以下、婦団連)の成り立ちについて教えてください。

丸山: 婦団連は、昭和35年5月19日に発足しました。当時の日本はまだ男性社会で、女性は専業主婦が多い時代でした。そんな中、女性にも学ぶ機会を、ということで教育委員会からお声がけがあり、学習活動の場をいただいたのが始まりです。私が参加した昭和62年には、意欲的に学んでいらっしゃる先輩たちがたくさんいて、大変刺激を受けましたね。

—— 活動に参加されたきっかけは?

丸山: 私は、子どものPTA活動に参加したのが始まりです。その後、青少年委員などもやらせていただきましたが、そうした経験もあって町会婦人部に加入しました。そして、区内の婦人団体の連合体である婦団連に参加することになって、今日に至っています。

山崎: 私も子どものPTA活動が終わるのを機に、「地域活動を始めてみませんか」と婦団連の先輩に声をかけていただいたのがきっかけです。当時は、母の介護をされていて、時間のやりくりをしながら活動していましたが、皆さんの支えがあって現在まで続けてこれたと感じています。

竹花: 私は、教育委員会が実施していた「ことぶき学級」に参加していて、そこで一緒に参加していた仲間たちがいつも婦団連の大先輩方の話をするんですよ。それで、「婦団連ってなんだろう?」と関心を持ち、参加することになりました。

白鳥: 私も子どもが小さい頃からいろいろな活動をしていて、明るい選挙推進委員などもやらせていただきましたが、平成22年に町会の婦人部長を引き受けることになり、婦団連の理事として参加することになりました。

大塚: 社会教育との関わりは昭和55年ごろだったと思います。当時、区内には、婦人団体である「消費者の会」「生活学校」「自主グループ」「婦団連」という4つの大きな団体が、それぞれ切磋琢磨しながら勉強や、実践活動をしていましたね。私は、自主グループに属していましたが、解散を機に婦団連に入りました。

小沢: 私は、参加していた町会の前会長さんから引き継ぎ形で婦団連に入りました。当時、後継者ができたことを大変喜んでいただいた記憶があります。長い歴史のある婦団連での私の活動歴はまだ5年余りですが、皆さんに支えられて頑張っています。

矢部: 私は町会の婦人部の部長をしていたんですが、長く務めていたので、前任者とバトンタッチする形で平成12年頃に入り、それからずっと続けています。

—— 幅広い活動の中で、特に印象に残っている活動はありますか?

大塚: 婦団連の活動の魅力の一つは、学習の場があることだと思います。また、毎年行っている宿泊研修では、他県などの婦人団体と交流しています。

山崎: 平成27年は栃木県日光市、28年は長野県上田市、29年は千葉県旭市に伺いました。他県の方が、地域活性のために頑張っている姿を見ると、とても感動するんです。

矢部: ほかに、募金活動で集めたお金を青梅市にある老人ホーム聖明園荘に寄付しています。とてもいい活動だと思いますし、長く続けている取り組みの一つです。また、年に1度、小学校1年生を対象に昔の遊びを体験してもらう催しを行なっているのですが、朝の交通安全活動で旗振りをしている時や街で会った時に、子どもたちが「こんにちは」「さようなら」とあいさつをしてくれることがあり、とてもうれしい気持ちになります。

竹花: 一つ一つの活動を一生懸命にやる方たちと一緒に活動できていることが誇りです。研修活動では、災害があった時に、体を張って泥まみれになって地域のために貢献する女性たちの話を聞いて、本当にすごいことだなと感じました。

丸山: 婦団連の活動には、女性の地位や知識の向上、社会貢献、そして文化的な学びという目的があります。特に渋谷区には文学が好きな人が多く、昭和47年頃から主婦大学講座という名称で國學院大学などの先生を迎えて古典文学を学ぶ活動を行なっていました。中でも、東洋大学名誉教授の神作光一先生にお願いして古典文学の代表作である源氏物語全54巻を、24年かけて読了したのは婦団連の実績であり、忘れられない思い出ですね。



副理事長  
やまがuchi たかこ  
山崎恭子さん

たくさんの人と一緒に「オリンピック渋谷音頭」を歌って踊りたいです。



副理事長  
たけはな ともみ  
竹花富美子さん

一つ一つの活動を一生懸命に取り組む方たちと一緒に活動できていることが誇りです。



しらとり ひろこ  
白鳥弘子さん

若い世代への声かけも積極的に言い、魅力を伝えられるように頑張ります。

—— 29年度の活動テーマは、「地域の絆～声かけしよう 世代をこえて～」とのことですが、どのような思いがあるのでしょうか?

丸山: 2011年に発生した東日本大震災をきっかけに、今こそ「絆」が大切だという結論に至って、このテーマに決めました。その後も毎年新しいテーマを考えるのですが、やはり絆は、いつの時代も子どもから大人まで、みんなにとって大切なものだと思うので、現在もこのテーマで活動を続けています。

大塚: 都市で生活をしていて、人間関係の希薄さを感じる中で「絆」というのは、永遠のテーマで、一番大切なものだと思います。そのために声かけの活動は積極的に行なっていて、特に一人暮らしの高齢者を町会の行事へ誘うなど、つながりづくりを大切にしています。何かあった時にはみんなで支え合えるように、小さな努力をこれからも重ねていきたいと思っています。

—— 2年後には、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。「オリンピック渋谷音頭」の保存や普及にも力を入れている皆さんの目標を教えてください。

山崎: 前回の東京オリンピックの際、発足して間もない婦団連は選手村のお手伝いへ行くなど、たくさん活躍をしたそうです。そうした活動を記念して、亡くなられた演歌歌手の春日八郎先生の歌で「オリンピック渋谷音頭」が誕生し、それから私たち婦団連は、活動の一環として小中学校の運動会や地域のお祭り、老人ホームの催しなどで踊ることで普及啓発に努めています。これは50年以上続く、婦団連の代表的な活動です。今後も東京2020大会に向けて、たくさんの人と一緒に「オリンピック渋谷音頭」を歌って踊りたいですね。

—— 最後に、今後の活動の抱負やメッセージをお願いします。

矢部: 最近、子どもを通して町会に参加して下さる人が増えました。街のお祭りに参加した子どもが、お土産を持ち帰り「町会からもらったよ」と話すことによって、お母さんたちが興味を持ってきて、参加のきっかけになっているようです。そうやって若い人が地域の活動に参加してくれるようになるとうれしいですし、これからも婦団連の良さを生かして、地域に溶け込みながら楽しく頑張っていきたいと思っています。

白鳥: 婦団連の活動には、区民の元気づくりのための健康教室など、同時に自分のためにもなる活動もたくさんあります。私も活動を通じて意識的に健康に気を付けるようになりましたし、多くの人に学ぶ楽しさを体感してほしいですね。若い世代への声かけも積極的に行って、魅力を伝えられるように頑張ります。

小沢: 私自身、踊りが苦手だったのですが、思い切って「オリンピック渋谷音頭」の盆踊りに挑戦してみたら、とても楽しむことができました。初めてのことはばかりで戸惑いもありますが、新しい自分と出会えるのでとても楽しいですね。これからも婦団連の活動にもっと参加して、その良さを発信していきたいと思っています。

竹花: ボランティア活動で高齢者の皆さんと触れ合う機会があるのですが、お話をしていると、勉強になることがたくさんあるんです。だからこそ、若い人にもどんどん参加してほしいですし、もっと気軽に体験できるような環境を作っていきたいですね。

丸山: 絆は、やはりいいテーマだと思っています。その絆を作っていくために今自分に何ができるのか、心の目を開いていくと今まで気付かなかったことが見えてきて、小さな声でも聞き取ることができるんです。そうやって一つ一つ絆を深めていくことが、誰もが住みやすい地域を作っていくことにつながっていくと思います。婦団連で活動している人たちは元気ですよ。明るく楽しく朗らかで仲が良くて、健康長寿のこれから、そうしたことを伸ばして、欲張りながら、楽しみながら活動していきたいと思ったり、若い世代と一緒に活動してくれることを願っています。



おおつかひろこ  
大塚広子さん

地域での実践活動だけでなく、学習の場があることがとてもありがたいです。



おざわ みちよ  
小沢三千代さん

初めてのことは戸惑いもありますが、新しい自分と出会えるのはとても楽しいです。



やべ あきこ  
矢部昭子さん

子どもたちが顔を覚えてくれてあいさつしてくれるのがとてもうれしいです。



8月5日渋谷盆踊り大会



11月4日くみの広場

11月23日障害者団体連合運動会

渋谷区婦人団体連絡協議会の皆さんのインタビューは、1月23・30日に「渋谷隣祭り」で放送予定です。

※紙面に掲載している情報は、30年1月15日現在のものです。

広報コミュニケーション課広報聴係 ☎3463-1287 📠5458-4920

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ しぶや区ニュース (10分間) 月～木 11:00/16:00/21:50 「しぶや区ニュース」の情報を発信します	渋谷隣人祭り (45分間) 火 11:10 渋谷区で活躍する人たちが登場します	ラジオ しぶや区ニュース (区長の部屋ほか) (10分間) 金 11:00/17:00/19:50 長谷部健 渋谷区長が出演します (ラジオしぶや区ニュースの内容になる場合あり)	渋谷のくらし (30分間) 金 17:20 地域の催しなどの様子を伝えます
---	---	---	---

「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人とのつながりが広がる紙面をお届けしています。

周波数: 87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能

住所 | 渋谷区3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876  
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | https://shiburadi.com/